

取扱説明書

エスフォーム ウイングサポート

E S F - W G S



本取扱説明書を読み、内容を理解してから
当製品を操作・点検してください。

エンジニアリングシステム株式会社
医療機器事業部
長野県松本市笹賀5652-83
TEL 0263-29-2633 FAX 0263-29-2638
2017年12月版

このたびは、当製品をお買上げいただき、誠にありがとうございます。

本書は、当製品を安全に取り扱うために必要な事項を説明しています。

ご使用の前に、必ず本書を読み、操作方法等を十分に理解された上で、ご使用ください。

本書に従わなかった場合、事故に結びつくことがあります。

また、お読みになった後は、大切に保管してください。



作業者の方は、当製品の操作または保守を行う前に本書をよく読んでください。

- 本書の説明が完全に自分のものとなるまでは当製品をご使用にならないでください。
- 常に本書を手元に保管し、繰り返し読んでください。
- 安全にご使用いただくために、点検は必ず行ってください。
- 本書を紛失または損傷した場合は、速やかに弊社に連絡してください。
- 譲渡あるいは移設されるときは、次の使用者に、本書を必ず添付してください。
- ご不明な点は、弊社担当までお問い合わせください。

目次

まえがき	安全にご使用いただくために	4
第1章	概要	5
第2章	仕様	6
1.	装置各部名称	6
第3章	取扱方法	7
1.	操作の前に	7
2.	操作方法	8
2-1.	天板への設置	9
2-2.	枕の設置	10
2-3.	アームレスト位置の調整	11
2-4.	アームレスト角度の調整	14
2-5.	グリップの調整	15
2-6.	セットアップ例	17
第4章	保守・保管	18
1.	保守	18
2.	保管方法	18
	セッティングシート	19
	巻末資料1. 枕プレートの貼付	20

まえがき 安全にご使用いただくために

ほとんどの事故は、基本的な安全規則を守らない操作や、点検・整備不良が原因で発生しています。

当製品の操作・点検・整備の前に、必ず本書及び当製品に書いてある全ての注意をよく読み、十分に理解してください。

本書及び当製品の警告ラベルは、よりよく理解していただくため、次のように使い分けています。

また、警告ラベルが剥がれそうになったときは、速やかに弊社担当に連絡し、新しいものと取り替えてください。



この語は、危険が回避されない場合、その結果として死亡または重傷を負うことに至る切迫した危険状況あるいは箇所を示します。



この語は、危険が回避されない場合、その結果として死亡または重傷を負う可能性がある危険状況あるいは箇所を示します。



この語は、軽傷または中程度の傷害を負う可能性がある危険状況あるいは箇所を示します。
もしくは、物的損害の発生のみが予想されような危険状況を示します。

第 1 章 概要

本製品は、ベースプレート・アームレスト・グリップベース・グリップ・枕トレイ・診断用カップ枕を基本構成とした固定システムです。患者の体位を適切に位置決めし、かつ簡便にセッティングすることができ、再現性に優れているため、精度の良い固定が可能です。

1. 製品の特徴

1-1 固定

アームレストにより上腕を任意の位置に固定できます。グリップも位置の調整が可能で、患者の安定した挙上姿勢を得ることができます。

1-2 サイズ・重量

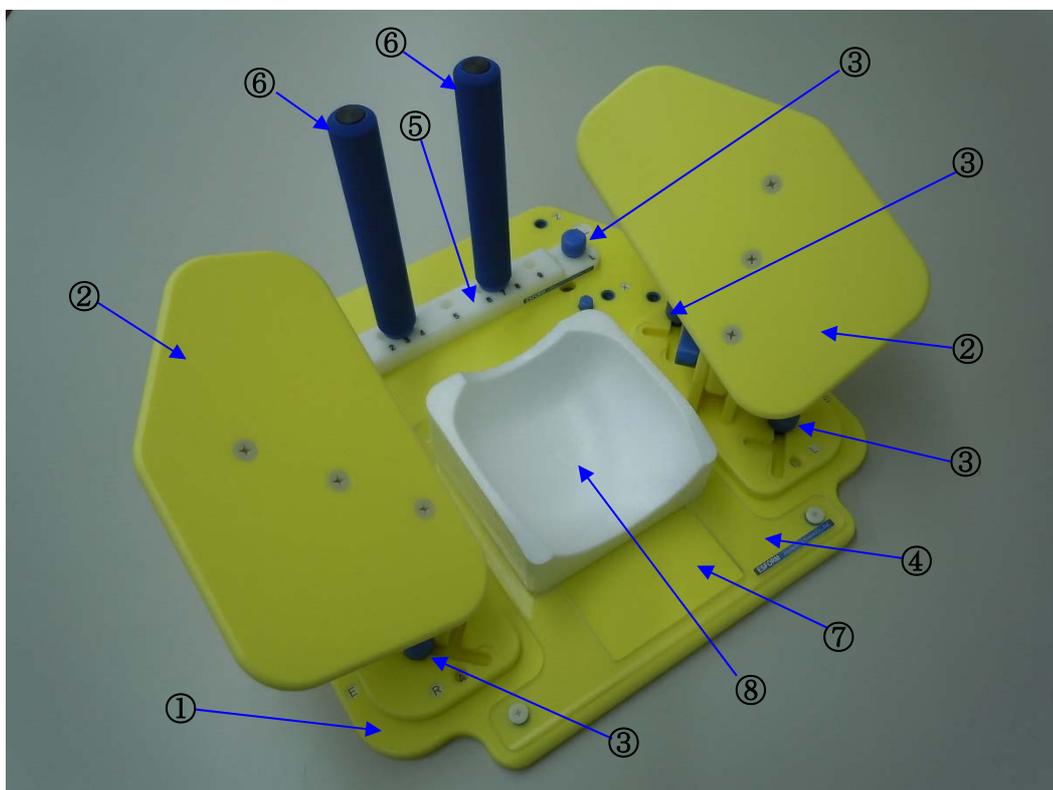
製品最小幅 546 mm なので、一般的な開口径の C T でも使用が可能です。本体重量は 3.4 kg と軽量で、取り扱いが容易です。

1-3 材質

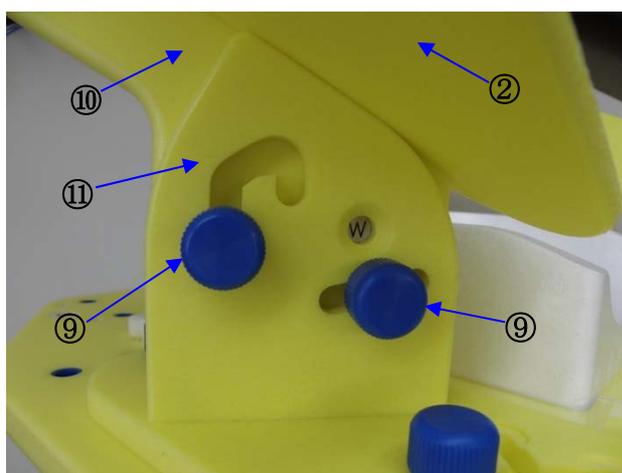
ベースプレート、アームレストなど（標準型）はポリエチレン樹脂発泡体。グリップベースはポリアセタール樹脂を使用しています。MRI でご使用いただけます。

第 2 章 仕様

1. 装置各部名称



- ① ベースプレート
- ② アームレスト
- ③ ロックノブ
- ④ 枕トレー
- ⑤ グリップベース
- ⑥ グリップ
- ⑦ 枕プレート
- ⑧ 診断用カップ枕
- ⑨ アーム角度ロックノブ
- ⑩ アームレストポスト
- ⑪ アームレストサイドプレート
- ⑫ グリップスペーサ



第 3 章 取扱方法

1. 操作の前に

1-1 安全作業のために



安全な作業をしていただくために、必ず次の事項をお守りください。

- 操作前に本書を良くお読みになって、十分にご理解されてから作業を始めてください。
- 放射線下でご使用になる場合、通常環境下に比べ、プラスチックの強度劣化が著しくなります。ご使用前には製品にひび割れ等の欠陥が生じていないか、十分にご確認ください。小さな欠陥部分から大きな破損にいたる恐れがあります。ひび割れ等の欠陥が見つかった場合、直ちにご使用を中止し、弊社までご連絡ください。
- ご使用前にはネジ類の緩みがないか確認してください。

2. 操作方法



警告

●放射線下ではプラスチック類の強度劣化が著しくなります。
ご使用前にはベースプレート、アームレスト等にひび割れ等の破損が生じていないか、必ず始業前点検を行ってください。

●本品は滑りやすい材質で構成されています。
天板と本品のスベリ防止対策は、ご使用方法に合わせた安全対策を各施設様で実施してください。

●本品を寝台から突き出してご使用しないでください。
本品ごと患者が転落する恐れがあります。

●アームレストに無理な力をかけないでください。
取り付け部が破損して患者が転落する恐れがあります。

●グリップに無理な力をかけないでください。
ねじ込み部が破損して患者が転落する恐れがあります。

2 - 1 . 天板への設置



警告

●本品を固定して使用しない場合は、本品と寝台の間にスベリ止めを敷く、安全ベルトを併用する等の患者転落防止の安全対策を行ってください。

- ・製品を天板に載せ使用します。
- ・位置決めを必要とする場合には、天板に付属のインデックスバーを使用して固定することができます。

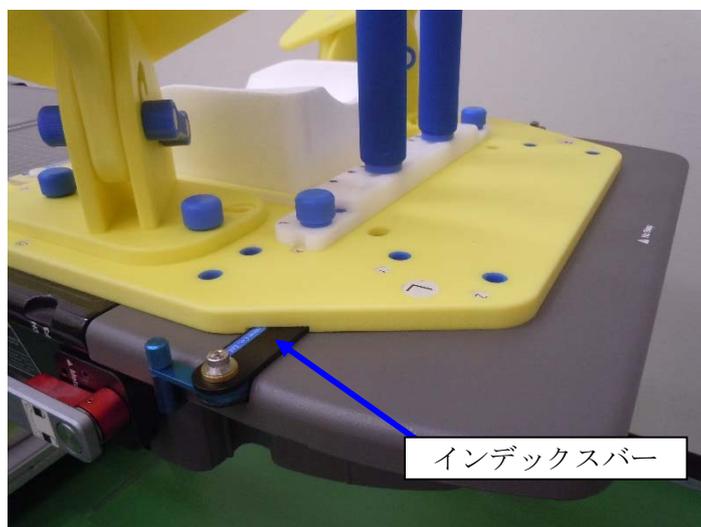


図 1

- ・天板上で本機が滑る場合には、滑り止めマットもしくは安全ベルト等を併用し、患者転落防止の安全対策を行ってください。

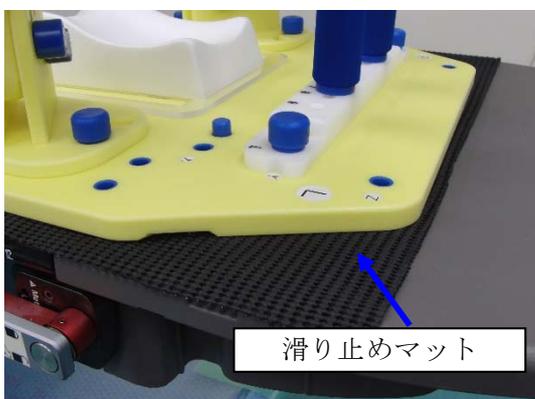


図 2



図 3

2-2. 枕の設置

枕は頭部位置決めに使用します。

診断用カップ枕1個、ヘッドネックサポートBタイプ1個、枕プレート3枚が付属しています。

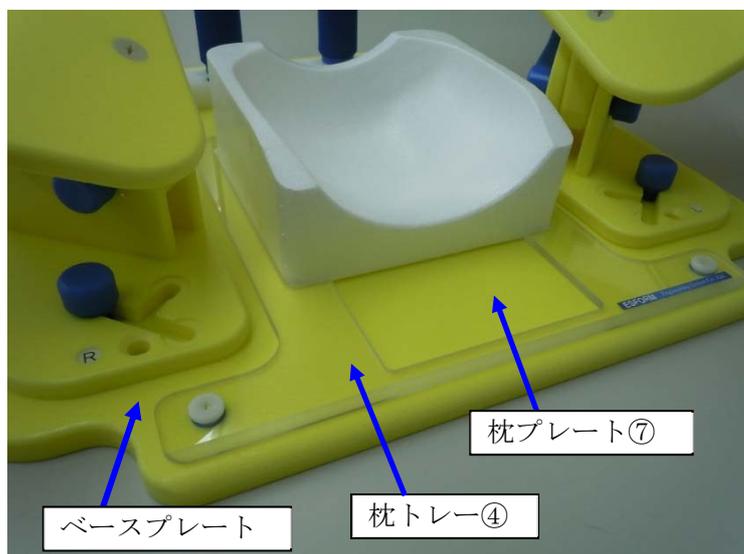
- ・ 挙上姿勢に応じて診断用カップ枕1個、ヘッドネックサポートBタイプ、もしくは現在お使いの枕を選択してください。

- ・ 枕は裏面に枕プレート⑦を貼り付けて使用します。



- ・ 枕プレートの貼付手順は巻末資料1. (20ページ)を参照下さい。

- ・ 枕プレートを貼った枕トレーを、本体に設置してください。



※別売の膝乗せクッション、ヘッドネックサポート、固定シェル、吸引式固定バッグを、必要に応じてご利用ください。

特に、膝乗せクッションとの併用により、挙上体位がとり易くなります。吸引式固定バッグとの併用では頭部の固定再現性が向上します。

2-3. アームレストの調整

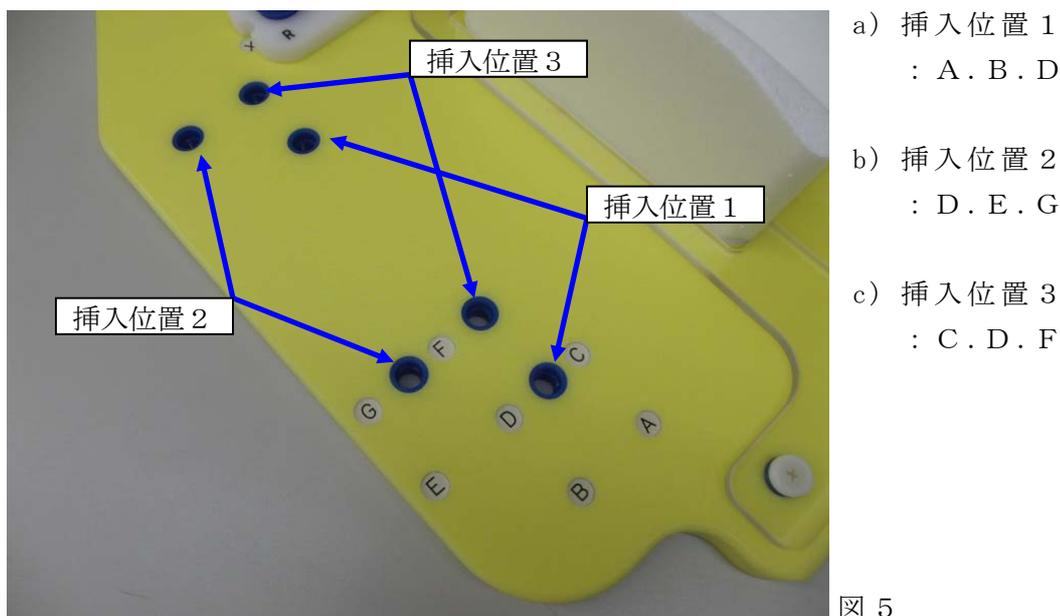


注意

- 再度位置をロックする場合には、必ずロックノブがロックホールにはまっていることを確かめてから使用してください。「図13」参照

アームレストは目的の挙上姿勢や、体格に応じて調整します。
アームレスト②の位置はロックノブの取り付け位置を変更することで、7つの位置を選択することが出来ます。

- ・ロックノブ1つの挿入位置に対してロックノブをゆるめるだけで3つの取り付け位置を選択することが出来ます。
- ・ロックノブ②の挿入位置に対応できるポジションは以下写真を参照ください。



- ・標準のロックノブ挿入位置は「挿入位置 1」です。
- ・アームレストの位置はR、Lともに「A」です。

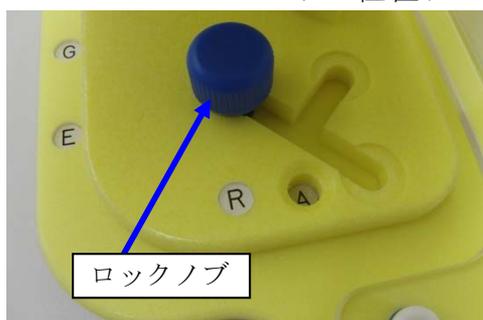


図 6



図 7

a) 挿入位置 1

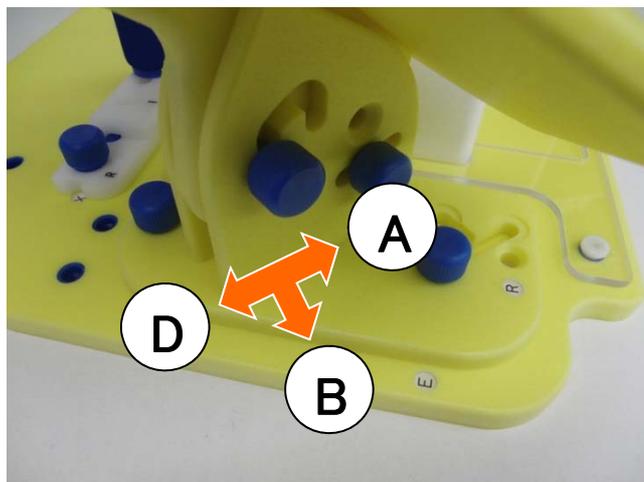


図 8

b) 挿入位置 2

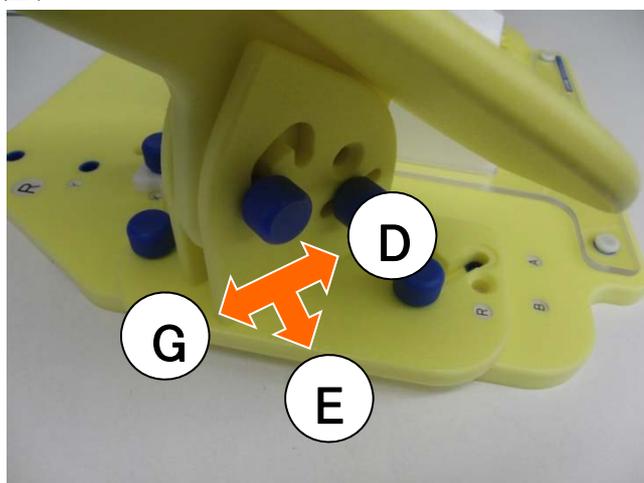


図 9

c) 挿入位置 3

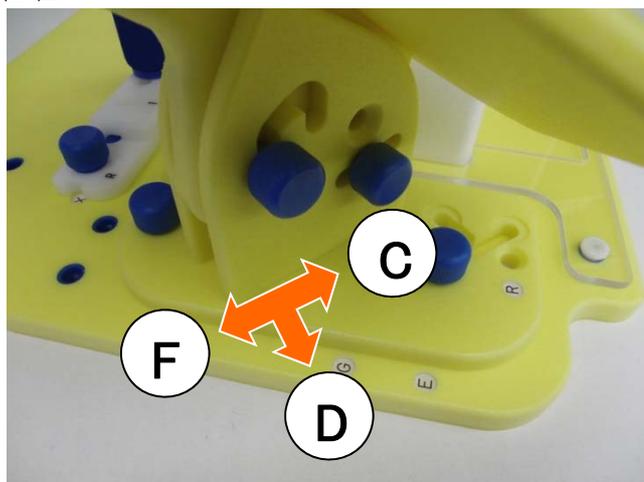


図 1 0

- ・ 挿入位置穴 3 を使用する場合、グリップベース⑤を X ポジションへ取付けることは出来ません。

- ・アームレストの位置変更はロックノブ③をゆるめ位置を変更します。
- ・ノブをゆるめて移動できるのは3つのポジションです。
- ・その他のポジションはロックノブを外してノブの挿入位置を変更してください。
- ・位置が決まったらロックノブ③をしめて固定します。

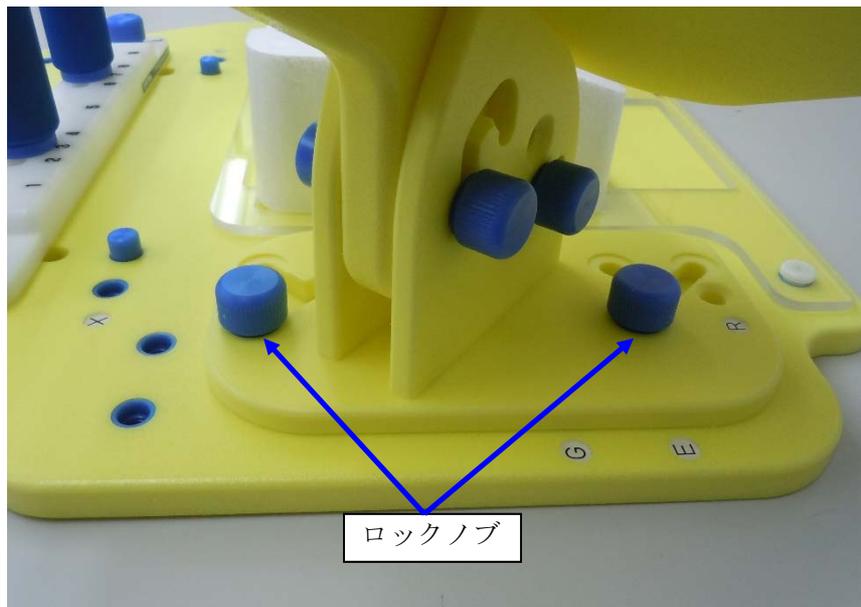


図 1 1

- ・ロックノブは約1.5回転ほどゆるめるとロックホールからノブが外れロックが外れます。

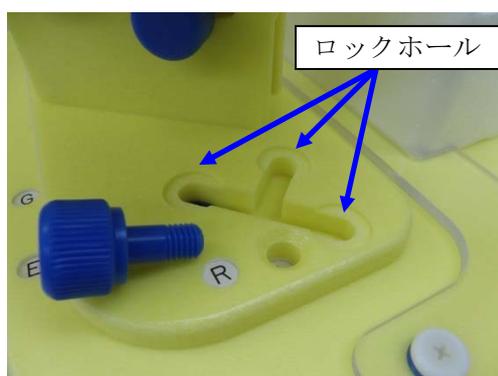


図 1 2



図 1 3

2-4. アームレスト角度の調整

アームレスト②は角度を2段階に調整することができます。

「W」ポジションは標準的な位置、「N」ポジションは上肢を伸ばした姿勢、または体厚の無い患者に適しています。



図 1 4

・アームレスト②の角度の変更

例：WポジションからNポジションへの変更

1. アーム角度ロックノブ（上、下）を2回転ほどゆるめる。
2. 「図 1 3」アームレストポストを持ち上げる。
3. 「図 1 4」アーム角度ロックノブ下をスライドさせる。
4. アームレストを上からおさえ、アーム角度ロックノブ上が溝にはまり、Nポジションマークが見えているか確認する。
5. アーム角度ロックノブ（上、下）をしめて固定する。



図 1 5



図 1 6

2-5. グリップの調整



注意

- グリップに無理な力をかけないでください。
ねじ込み部が破損して患者が転落する恐れがあります。
- グリップを握らせたまま患者を移動させたり、機器の運搬など、
目的以外の用途に使用しないでください。
本製品を破損する恐れがあります。

グリップ位置は挙上の姿勢や、体格に応じて調整します。

- ・グリップベース⑤は前後3段階の位置に固定することができます。
- ・ロックノブ③を外し、希望のポジションマークにグリップベースの切りかきを合わせて固定します。

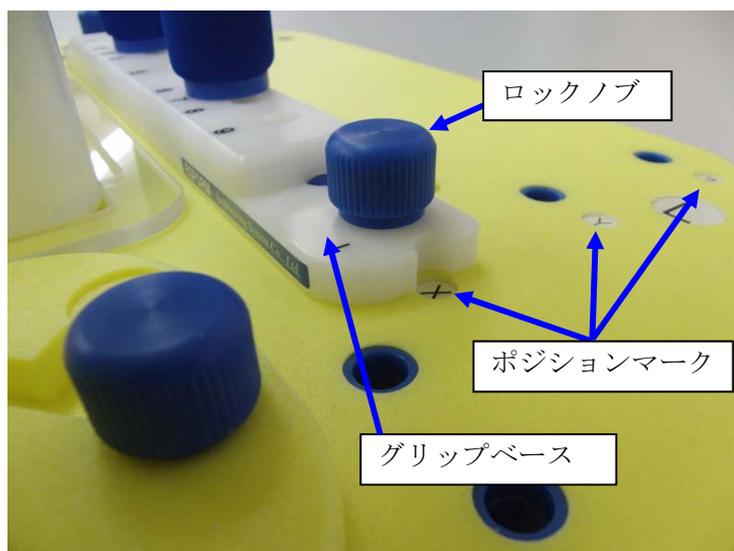


図 1 7

- ・グリップ⑥はグリップベース上の箇所①の取付穴に設置できます。

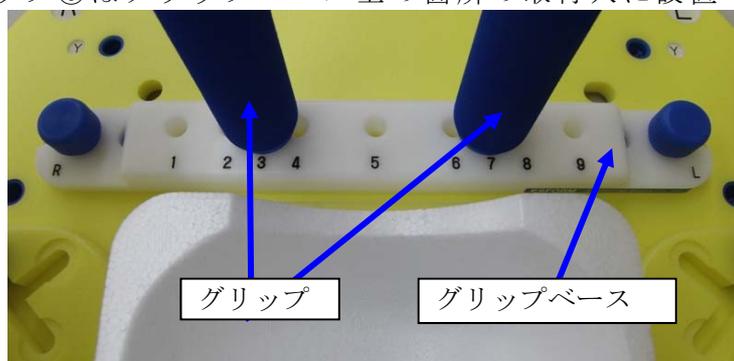
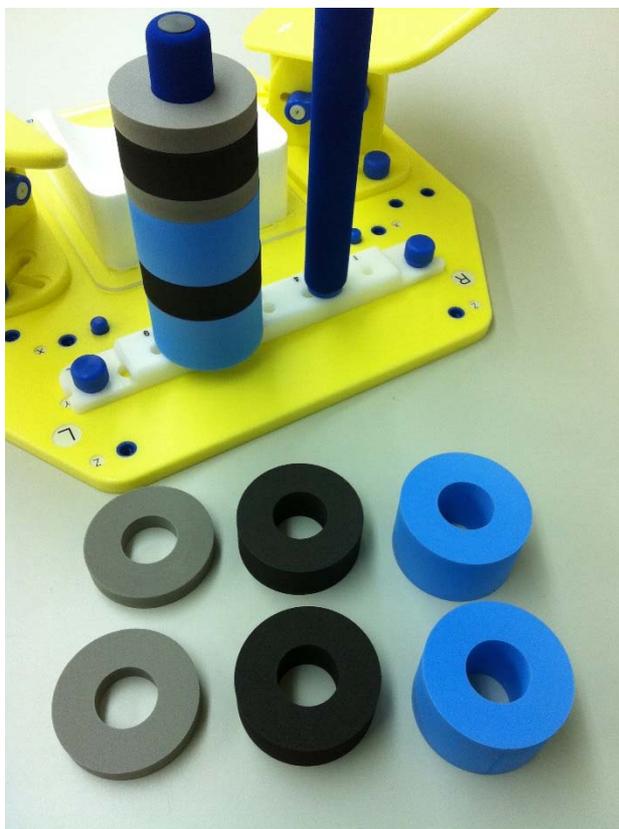


図 1 8

- ・標準的なグリップベース位置は「X」、グリップ位置は「3」「7」です。

- ・グリップスペーサ⑫は手の位置決めに使用します。

厚みの違うグリップスペーサを組み合わせによって握り位置の高さを変更することができますので、必要に応じてご利用ください。



付属枚数（1台分）
青色：50mm 4枚
黒色：30mm 4枚
灰色：15mm 4枚

図19

2-6. セットアップ例

アームレスト角度をNポジションにした場合、アームレスト位置およびグリップベースの位置を変更するとより良好なポジションを得ることができます。

- ・ Nポジション(ナローポジション)でのセットアップ例

a) セットアップ例1 (体厚のない方など、女性患者)



- ・ アームレスト位置
D
- ・ アームレスト角度
N
- ・ グリップベース位置
Z
- ・ グリップ位置
3-7

図 2 0

b) セットアップ例2 (体厚のある方など、男性患者)



- ・ アームレスト位置
B
- ・ アームレスト角度
N
- ・ グリップベース位置
Z
- ・ グリップ位置
3-7

図 2 1

第 4 章 保守・保管

1. 保守

1-1. 十分な知識や技術を持たずに分解・整備を行わないでください。

ウイングサポートの正常な機能が損なわれる恐れがあります。

分解・整備が必要な場合は弊社までご連絡ください。

1-2. 清掃する場合は、消毒用アルコールを使用してください。

シンナー等の有機溶剤をご使用になると、製品が変質・変形する

恐れがあります。

2. 保管方法

2-1. 水平な場所で保管してください。

プレート変形する恐れがあります。

2-2. 常温常湿にて保管してください。

2-3. 耐用期間

本製品の耐用期間は、正規の保守点検を実施した場合に限り、
納入より4年です。（自己認証による）

ただし、使用状況により異差が生じる事があります。

Patient: _____

Date: _____

Notes: _____

有無 **Check** グリップスペーサ

使用枚数

R:青 黒 灰 L:青 黒 灰

メモ: _____

有無 **Check**

グリップベース

位置: _____

グリップ

位置: _____

メモ: _____



有無 **Check**

インデックスバー

メモ: _____

有無 **Check**

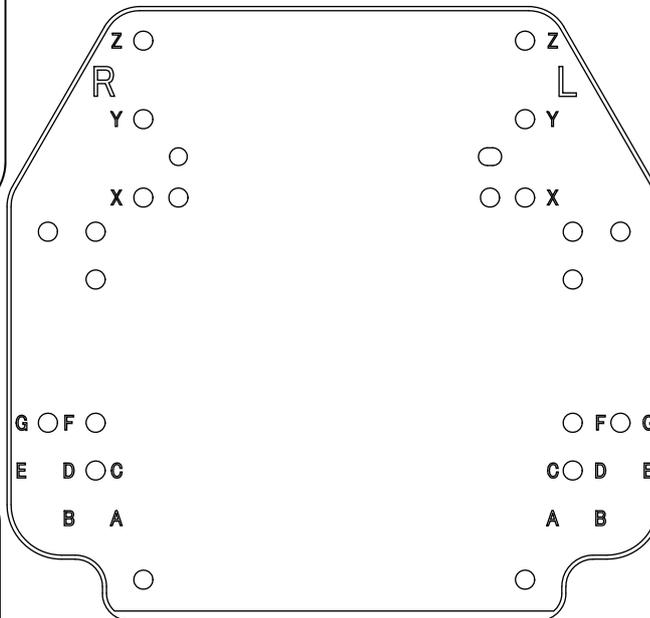
アームレスト R

位置: _____

メモ: _____

アームレスト角度

位置: _____



有無 **Check**

枕トレ

メモ: _____

有無 **Check**

アームレスト L

位置: _____

メモ: _____

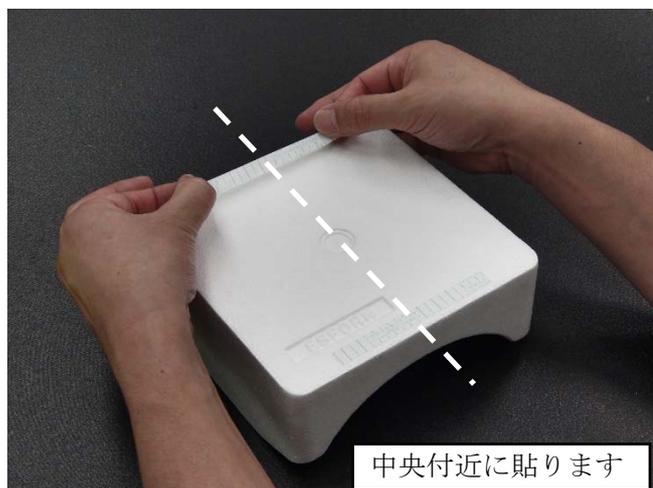
アームレスト角度

位置: _____

巻末資料1. 枕プレートの貼付

1). 診断用カップ枕と枕プレートの貼付方法

- ・ 診断用カップ枕の裏面に両面テープを2ヶ所程度貼ります。

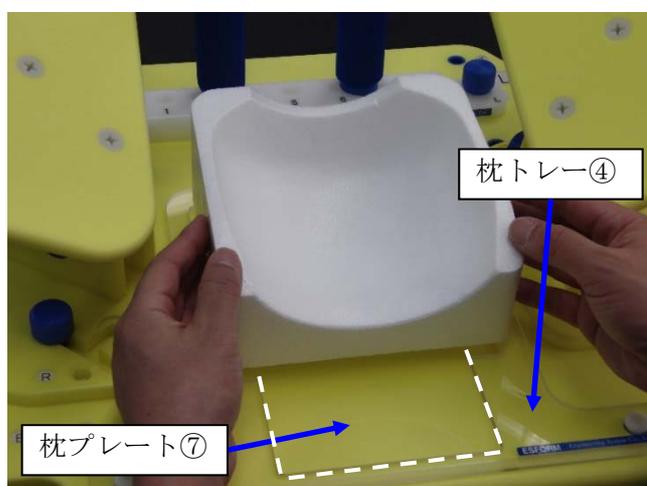


※写真の両面テープの長さは100mmにしています。

- ・ 診断用カップ枕と枕プレートの位置決め。
 - a). 枕プレート⑦を枕トレイ④にあわせて設置します。
 - b). 診断用カップ枕を枕トレイ④にあわせて置きます。
 - c). 診断用カップ枕と枕プレート⑦を貼り付けます。

※枕プレートの線と文字の向きについて。

- ・ 診断用カップ枕用の位置決め線はありません。
- ・ 向きは、他の枕（ヘッドネックサポート等）と同様に、文字を頭頂側に向けて貼り付けることをおすすめします。



- ・ 完成



※再度枕を張り替える時は、残った両面テープを剥がしてから張り直してください。

2). ヘッドネックサポートBタイプと枕プレートの貼付方法

- ・ 貼付前にヘッドネックサポートと枕プレートの位置を確認します。



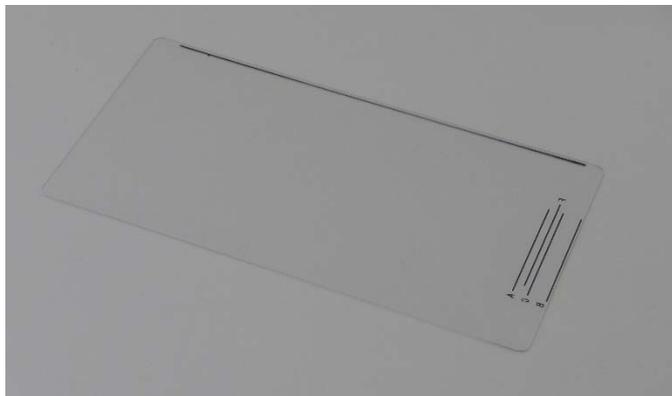
- ・枕プレート”B”の線にヘッドネックサポートの端を合わせます。



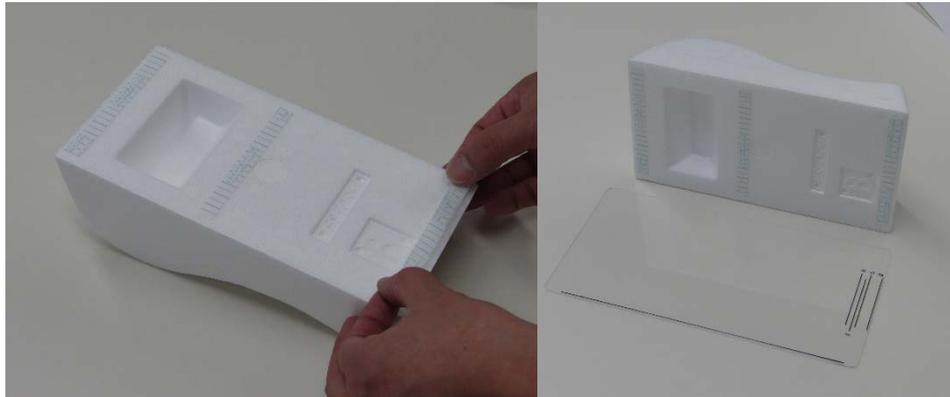
- ・貼付位置の左右を合わせ、裏面から目印を付けます。



- ・線を引くと、貼り合わせの際に目安になります。



- ・ヘッドネックサポート裏面に、両面テープを3カ所ほど貼ります。



- ・枕プレートを表側にして、上下・左右の線に合わせて、ヘッドネックサポートを貼ってください。



- ・完成



※再度枕を張替る時は、残った両面テープを剥がしてから張り直してください。